

あるタクシー会社の対応

数年前の私の失敗から教わった話しをします。

天童市でIMが開催された時の話になります。IM終了後JR天童前で送迎バスに乗って帰路に就き新庄駅前に着くころになり財布が無い事に気づきました。飲酒したこともあり何処に置き忘れたか、落としたのかもわからず翌日を迎えました。

携帯電話の紛失は何度かありましたが、財布は初めてでして自責の念に苛まれていた時電話が鳴り、財布を拾ったので会社に置いておきますとの電話でした。その会社は、山寺観光タクシー株式会社天童営業所でした。電話の話ではその会社のドライバーが天童駅のトイレに行った際トイレ内で財布を発見したので会社に持ち帰り、所在を確認するために申し訳ないが財布の中を確認したところ運転免許証から私の住所から電話番号を探して連絡したとのことでした。財布には運転免許証の他現金2万数千円、健康保険証、クレジットカード数枚、県立新庄病院ほか受診票数枚、各種ポイントカード数枚が入っており、紛失した場合はそれぞれの再発行に手続きと日数を要するところでした。早速菓子折りを買ってタクシー会社迄行き財布と中身を確認しましたが何一つ欠けているものが無く、その会社に何度となく感謝を伝え持ち帰ることが出来ました。

冷静に考えた時、もし別の人拾って出来心で現金を摂取することもあれば、免許証や社会保険証を使って不正な詐欺に使用されたり、クレジットカードを使って購買又は借入れや不当な契約等々の可能性を考えると背筋がぞっとする思いです。私の場合は善良なタクシードライバーが発見して頂いた為に何事もなく済んだことが運が良かったと言って済ませてしまうのは軽率すぎるのではと自身を戒めると同時に、これが「職業奉仕」でありまた「倫理」であると思いました。

直接聞いた訳ではありませんが、このタクシー会社ではお客の忘れ物に対しての対応マニュアルと教育が徹底しているからこそ、社内ではなくとも落とし物を見つけた時の対応迄教育が行き届いていたものだと思います。

私が逆の立場であった時も同じ対応を取ることはもちろんのこと、社員にも事案として共有しております。